

Amir Tsarfati 氏 スペシャルアップデート 2018年 5月 14日公開 アメリカ大使館移転について

(日本時間 2018年 5月 14日 23時～)

皆さん、シャローム！ガリラヤより、アップデートしています。わたしの背後にはハルマゲドンの谷が広がっています。このような預言的な場所を背景に、預言の話をしているのも、ある意味、象徴的な気がしますね。初めは、ライブを午後5時に行なうと発表したのですが、近くのラマト・ダヴィド空軍基地より、いくつかの離陸があったため、時間を変更しました。イスラエルは、現在ガザ地区で起こっている状況に対処していて、ここ数時間の間に、我々はハマスの標的に対して、何度か空爆を行いました。それについても、後ほどお話しします。

1995年、エルサレム法案が米国議会で可決されました。

それ以来、その法案が告げて来たのは、基本的には次の通りです。

「アメリカは、直ちに大使館をエルサレムに移す。」

しかし、それには条項があって、国家安全目的のためであれば、その決断を拒否し、6ヶ月間延期出来る権限が、アメリカ大統領に与えられています。そして1995年以降、次から次へと大統領たちが、その条項を利用して拒否権に署名し、どんどん先延ばしにするのを、私たちは見て来ました。トランプ大統領でさえ、まず、ここで起こっている事を把握するためにそれをしなければなりません。それから彼は、これらをどのように前進させることが出来るかを理解しようとしていました。中東の状況のために、彼はイスラエルとパレスチナで実際に何が起こっているのかを、新鮮な目で見ることが必要がありました。そして彼は、自分に与えられた機関の中では、パレスチナ—イスラエル間の包括的な和平協議は、恐らく得られないだろうと理解したのです。そのために彼は、「最後の協議」という言葉を使い始めました。これが、多くの人が誤解している点です。彼が「最後の協議」という言葉を使った瞬間に、また彼が「アラブ諸国とイスラエルの平和」という言葉を使った瞬間、もはや彼の思いの中には、エルサレム及びパレスチナをなだめる事はありませんでした。事実、我々が押せば押すほど、また、エルサレムに関する解決策を遅らせれば遅らせるほど、中東平和へのあらゆる機会がどんどん遠のいていくことに、彼は気付いたのです。

興味深いのは、聖書には「偽の平和」が与えられます。そして、その平和の期間に、イスラエルは、エルサレムに神殿建設の機会を得ます。つまり、それを促進するために、エルサレムはイスラエルの首都である、と認識されなければならず、イスラエルはエルサレムだけでなく、最終的には神殿の丘そのものに対しても、権限を持っていなければなりません。ですから、はっきり言えば、イスラエルに強要される、いかなる和平協定によっても、エルサレムが分断されるとは、私は一瞬たりとも考えた事はありません。その理由は、簡単です。現在、パレスチナと対話する者は誰もおらず、彼らと話すことは何もありません。皆さん、理解しなければなりません。我々がエリコを彼らに渡した時、私はイスラエルとパレスチナの間の交渉団の一員だったのです。当然、イスラエル側です。事実、私たちがパレスチナにエリコを渡したのは、23年前のこの週の頃で、——これで私の歳がバレてしましますが、当時私は21、22歳でした。ともかく、パレスチナとの間に、決して平和はあり得ない事は、当時でさえ、私の目に明らかでした。それは他でもなく、我々は全く同じことを言っているからです。

我々は、エルサレムは我々のものだと言い、
彼らは、エルサレムは彼らのものだと言います。
我々は、イスラエルは我々のものだと主張し、
彼らは、イスラエルは彼らのものだと主張します。
我々は、我々はこの地に住む権利がある、ここはユダヤ人国家だと主張し、
彼らは、我々には権利は全くない、ここはパレスチナ人国家だと主張します。
従って、外見上の解決策や、小さな傷に絆創膏を貼ったくらいでは、我々がここにいることを見たくない相手を前に、我々が取り組んでいる状況を変えることは決して出来ません。

またこれは、イランのイデオロギーと全く同じです。

「イスラエルには、存在する権利は一切ない」

イランはずっと、公に言っています。そのために彼らは、あらゆる手段や言葉、それから状況を使って、どうかしてイスラエルを地図上から排除しようとするのです。

次にイランですが、イスラエルに潜入しているところを我々が逮捕した、何人かのハマス工作員を、ここ数時間の間、内部シークレットサービスのシンベト（イスラエル総保安庁）が尋問した後、我々がずっと疑ってきたことの確証を得ました。イランが、ハマスの動きに出資していて、新たな暴力行為を増大させようとしていました。彼らは町中で人々を勧誘し、お金を与えて、イスラエル国境の柵の所に行かせ、何らかの脅迫行為をさせて、それによって彼らが殺されることを願っているのです。

まず大使館の移転についてお話をし、それからガザの状況についてお話をしましょう。これは非常に深刻です。

先ほどフェイスブックで、あちらで実際に起こっていることについて投稿しましたが、非常に悲しいのは、イランのテロ政権によって資金提供されているテロ組織があるのだということ、世界の諸国には理解出来ない点です。彼らは女性や子どもを採用して、国家の主権を守っているイスラエルの兵士に向かって突進させます。そして、そこに自分たちのテロリストを紛れ込ませ、こちらの領土に侵入して目的を果たさせるのです。

アメリカ大使館が正式にエルサレムに移転し、その式典がそろそろ終わる頃です。式典はもう終わり、アメリカ大使館の公印が除幕されました。私も、赤いビホールドイスラエルのシャツで、アメリカ合衆国に対して、感謝の気持ちと敬意を示してみました。



アメリカ大使館開館式（左）と、赤いビホールドイスラエルシャツ姿！（右）

ただ、皆さんに理解しておいてほしいのは、これによってアラブ人よりもヨーロッパ人の怒りを多く買っています。考えてみてください。サウジアラビアは何も言っていません。ヨルダンも、エジプトも、アラブ首長国連邦も、バーレーンも何も言っていません。皆さんは、ムスリム界が激昂することを予測されたでしょうが、彼らは何も言いません。ここで文句を言っているのは、唯一、レジェップ・タイIPP・エルドアン、それとヨーロッパだけです。信じがたいかも知れませんが、ヨーロッパはアメリカ大使館のエルサレム移転を非難しようとしていたのです。しかし欧州連合の規則では、批判は加盟国全員が受け入れなければ可決されません。そして、オーストリアとハンガリー、チェコ共和国、そしてポーランドが反対したため、欧州連合はアメリカの大使館移転も、エルサレムを首都としたイスラエルも、批判することが出来なかったのです。信じがたいですが、復興したローマ帝国の2本の足を、我々は今、目撃しているのです。彼らは一致しておらず、まさに預言者ダニエルが言った通り、粘土と鉄です。私は早くから、反キリストが西ヨーロッパから興る、と言って来ました。しかしまた、欧州連合が今はもう一致していない事実についてもお話して来ました。そこは、もはや一致しておらず、調和がありません。そしてその全ては、現在あちらで起こっている、信じられないような移民危機が原因です。

さて、アメリカ大使館が移転し、それによって、皆さん、エルサレムは今や、世界の大国によって認識されています。アメリカだけでなく、数日後にはグアテマラとその他、その後、エルサルバドル、ホンデュラス、ルーマニア、チェコ共和国その他。彼らはトランプ大統領の指導に従って、徐々に、彼らの大使館をエルサレムに移動させて行っています。恐らく、夏の中ごろには、5、6ヶ国の大使館が移動しているでしょう。そしてそれは、さらに続いて行きます。アメリカが大使館を移動させても何も起こらないなら、彼らも、自分たちの大使館を移動させることが出来る事、それによって彼らが見るものは、イスラエルとの関係から来る利益だけであることを、皆理解しているのです。そして、そこから私がいつも言っている描写にさらに近くなるわけです。

「イスラエルは強く、安全で、安心である。」

私も皆さんも知っている通り、イスラエルはパレスチナ人を殺したくはありません。

パレスチナ人たちは今、こうして私たちが話している間にも、まさに自殺を図っているのです。彼らが自分たちの場所に留まってさえいれば、我々は何もしません。彼らは、我々の領土に潜入しようとし、我々の軍基地にやって来て、我々のキブツや、ガザの外側にある我々の入植地に侵略して来るのです。

我々は、彼らに関わり合いたくはありません。

我々は何年も前に、ガザから撤退しているのです。

我々は、彼らとは一切衝突したくないのです。

それでも彼らは、自分たちが自爆的に塀に突っ込んでも、誰も気に留めない事を理解しています。

非常に悲しいことですが、ハマスは学校、医療制度、住む場所、仕事を一切与えていません。全く何も与えていないのです。ハマスは、人々を飢えさせています。ガザには、200万人の人たちが食べ物もなく、医療制度もなく、ガザには希望は一つもありません。

それが今、ハマスがしている事と言えば、お金で雇っているだけ。

「お金が欲しいなら、出て行ってイスラエルに敵対して行動しろ！」

それが、彼らのしている事です。

そしてハマスは、絶望している若者たちに言うのです。

良いですか？

あちらの若者の失業率は65%、全体の失業率は44%、世界で最高の失業率です。

そしてハマスは、

「イスラエルと衝突して死ねば、天国に行けるのだ。」

と人々に告げています。

地獄の中で生きていると、天国に行きたいものです。

人生が地獄のようであったなら、天国が素晴らしいものに聞こえるでしょう。

だから、これらの非常に絶望した若者たちが、テロリストに混じって走りまわり、彼らを手伝っているのです。現在、イスラエル国境沿いのガザで、異なる12カ所に最大規模の4万人の人々が集まっています。少なくとも、異なる4件で、テロ集団が、有名な「罪の無いデモ」の名の下、これまでの集会とは異なり、今回はおびただしい数の女性たちを、ハマスが集めて前線に送り込んでいることに、我々は気付いています。イスラエルは、女性も子どもも撃たないことを知った上で、彼らは女性や子どもを集めて、人間の盾として並べ、そのすぐ後ろに、銃や爆破物を持ったテロリストがいるのです。彼らは、イスラエルの畑を焼くために、凧を使って熱い炭を送り込んだり、ハマスの前哨から迫撃砲を撃ち込んだり、彼らに出来ることは何でも行います。



デモの現場に赤ちゃんを連れて来る母親（左）と、凧に熱い炭を付けて飛ばす（右）

それから、私がこれからいう事は、奇妙に聞こえると思いますが、イスラエルはパレスチナを、我々の国の存在を脅かす存在であるとは、全く見ていないのです。

皆さん、理解しておいてください。

むしろ我々は、彼らに良くなってほしいのです。

彼らがしっかりすれば、我々にとっても良い事ですから。

しかし問題は、我々が彼らを助けようとするたびに、彼らが、基本的には自分たちを傷めつけているのです。例えば、数日前の暴動で、パレスチナ人たちが破壊したのは、イスラエルがガザに天然ガスを送り込んでいるパイプラインです。彼らはイスラエルからガザに天然ガスを送り込んでいるパイプラインを破壊したのです。彼らは、我々がガザに物資を送り込んでいる地域を破壊したいのです。



5月11日、パレスチナ人はガスパイプラインを破壊

このように人々は、こちらに敵対して来るだけでなく、助けられることも拒んでいるのです。そして悲しい事に、彼らは世界に向かって言うのです。

「イスラエルが大虐殺を行なっている！」

レジェップ・タイイップ・エルドアンも、先ほどツイートしました。

「イスラエルが、ガザでパレスチナ人を大量虐殺している！」



ネタニヤフ首相を糾弾する、エルドアンのツイート

数時間のうちに、国連安保理事会が召集されます。

ガザで起こっていることに関して、緊急会議です。

誰もハマスがしていることを責めません。

彼らが見ているのは、死者数だけです。

ちなみに、現在45人を超えました。何故か？

彼らはテロリストと、テロリストによって利用された人たちです。

家に帰る途中とか、仕事に行く途中の罪の無い人たちではありませんよ？

誰も彼らのことを殺したくないし、傷つけたくはないのです。

ただ、非常に悲しいのは、現在我々が目にしている、パレスチナ人たちがしているのと同じように、アラブ人たちがイスラエル人に対してしていたことに関して、元イスラエルの女性首相ゴルダ・メリアが当時、非常に強烈な形で言いました。私はそれを先ほど投稿しましたが、彼女はこんなことを言っています。



ゴルダ・メイア

「私たちは、アラブ人たちが、我々の子どもたちを殺すことは許すことができる。しかし、私たちが、彼らの子どもたちを殺すようにと、彼らが我々を強要することは、私たちには許せない。アラブ人たちが私たちが憎む以上に、自分たちの子どもを愛して初めて、私たちの間に平和が訪れる。」

これはとても力強い言葉だと、私は思います。

私たちは彼らを殺したくはありませんから。

私は、彼らと戦いたくはないのです。

我々は、彼らと関わりたくはないのです。

しかし事実は、彼らは、我々が殺すように強要するのです。

彼らは、我々が彼らに敵対して行動するように強要するのです。

まるでハマスは、それを求めているかのように。

ハマスは、世界にパレスチナ問題を示すため、高い死亡者数に満足しているようです。

彼らは、自国民の事はどうでも良いのです。

彼らは、彼らの未来など何とも思っていないのです。

彼らは、彼らのいのちなど何とも思いません。

彼らに大事なものは、世界に自分たちの存在を示すための道具としての、死と破壊だけです。

そして世界がその手に陥っているとは、本当に悲しい事です。

国連安保理は、偽善者たちがたくさん集まる集団ですが、ニッキー・ヘイリーを、神に感謝します。



ニッキー・ヘイリー米国連大使

彼女は恐らく、イスラエルに敵対する決断や決議は、全て防ぐでしょう。あそこで、数々の嘘や欺きに酔うことなく、しっかりと目を覚ましている人がいることを、神に感謝します。

次に、エルサレムに大使館が開館することの重要性をお話させていただきます。

基本的には、エルサレムが交渉の中心に再び戻るということを、理解しておいてください。事実、私たちは、イスラエルが非常に様々な分野で、世界の大国として認識されているのを目にしているだけでなく、イスラエルは首都を持つ独立国家として認識されているのです。世界はもはや、

「私たちはあなたを愛しているが、あなたの首都は私たちが決める。」とか

「エルサレムが首都だという、あなたの決断は無視する」

とは言いません。

ところで、今私の後ろでF-16が離陸しています。

彼らは、ガザに向かっています。(戦闘機の音)

先ほども言った通り、事態はエスカレートしています。

ともかく、私が皆さんにお伝えしたいのは、それが公式に行われました。これまでの前大統領は、これを行なうと地獄の火蓋が切って落とされる、と恐れましたが、いいえ。世は続きます。アメリカは大使館を移転させ、明日は新しい日です。

ところで明日は、パレスチナ人たちは「大惨事の日/ナクバ」を迎えます。

というと、皆さんは

「今日は2018年5月14日なのに、どうしてイスラエルは今日お祝いをしないのか？」

と思われるかも知れませんが、イスラエル人は、祝日に関しては、ユダヤ暦以外のものには従わないからです。一般市民としての生活では、普通の暦を使いますが、おもに聖書から来ている祭日に関しては、私たちはいつもヘブル暦をつかいます。そして、1948年のイスラエル建国はイヤールの月で、日にはイヤールの第28日目でした。だから、今年その日が暦に来た時に、ここイスラエルで私たちは独立記念日を祝ったのです。他の世界は、いつもユダヤ暦でない暦に従っていますから、パレスチナにとって1948年5月14日は、彼らに言わせると「彼らの大惨事の日」とのことで、それ以来5月14日、もしくは翌日の5月15日なのです。皆さん、ご存知かどうか分かりませんが、独立したのは14日と15日の間の真夜中に、イギリス植民地の旗が下げられ、彼らが去ったのです。ですからパレスチナにとっては5月14日、15日が「憤怒の日」「大惨事の日」とされているのです。我々の独立は、彼らの大惨事です。だから明日彼らは、新たな「憤怒の日」、大勢の進行を新たに計画しています。今日、彼らが4万人を携えて来たなら、きっと明日はもっと大勢引き連れて来でしょう。当然彼らは学校や職場を閉鎖して、皆を国境に送り込みますから。

ただ一つ確かな事、私が感動しているのは、我々の敵にとって大惨事の日、アメリカは、70年前にイスラエルを国家として認識しただけでなく、70年後に彼らはイスラエルを首都として認識し、クリントン元大統領の時、エルサレム法が議会を可決して以来、非常に多くの大統領たちが渋ってきたことを、ようやく、初めて選挙公約を守り、実行する大統領が現れたのです。

初めて、アメリカの大統領が悪を恐れず、初めて、小さなつまらない政治家たちを恐れなかったのです。

あまりにも、あまりにも多くのガラクタが横行している事を、彼は理解しています。

この全てに、あまりにも多くの権力やお金が絡んでいる事を、彼は理解しています。

パレスチナの人たちは、非常に貧しいかも知れませんが、彼らの指導者たちは、豪華な宮殿に住み、世界中に豪邸を持つ億万長者です。パレスチナの大統領は、5000万ドルの自家用機を持っています。イスラエルの首相は、所有もしていません。彼らは人々から盗み、パレスチナの人々のために世界から送られたすべてのお金を、自分たちの懐に入れていきます。トランプ大統領がそれに気付いた時、それに対して何らかの処置がなされ

るまで、彼はパレスチナ当局への援助金を全て打ち切りました。

それだけでなく、信じがたい事に、皆さんの中にも聞いている人がいるでしょうが、現在ジョン・ケリーと、協議の時のイランの同等の立場の者との間で、密かに、いくつもの秘密会談が行われています。彼らは、イランがイラン協議から受けるはずのお金と、資金流入の約束が保障されないなら、この協議に調印するために賄賂を受け取った者たちの名前を公開する、と言っているのを聞いたのです。その事だけでも、このイラン協議がどれほどねじ曲げられていたかが分かるでしょう。政治家たちが密かにお金を受け取っていたのです。アメリカが、イランに現金で支払った20億ドル近くのお金の全てがテロに流れたのか、それともこの協議を必死で推し進めたアメリカやヨーロッパの指導者たちにもその一部が流れたのか、私には定かではありません。みなさん、膿は出さなければなりません。しかも、崩壊の長さ深さ広さは信じられないほどで、現在物事が露呈され、今あちらで起こっている事を通して、皆が恥辱を受けています。

また離陸しました。

これから、私の家の真上を飛行するので、私の声が皆さんに聞こえている事を願いますが、ちょっと待ちましょう。

皆さんにも見えると良いのですが。非常に美しい戦闘機です。

これらのF-16は、ガザにあるハ马斯の標的を破壊するために、現在向かっています。こうして話をしている間にも、イスラエルの戦車が、ガザ北部にあるいくつかのハ马斯の標的を攻撃しています。

イスラエルは、現在の状況をこれ以上エスカレートさせないと決意しています。現在の4万人を、これ以上増やさないように。私たちは、これ以上死者は出たくありませんから。

皆さん、理解してください。

聖書には、申命記30章で、主がモーセを通して語っておられます。

19 私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。…

(申命記 30:19)

死といのちがあります。死は悪で、いのちは良いものです。

彼らは死を選びますが、私たちは、いのちを選びます。

彼らは悪を選びますが、私たちは、善を選びます。

実に、シンプルな事です。

また、いのちを是認せずに、死を是認する宗教があることは本当に驚きですが、私には、これは非常に恐ろしい事だと感じます。

次に、現在起こっていることに関して、多くの方が混乱しておられるようで、私の所にも、次のような質問が届いています。

「あなたは、イスラエルは非常に安全、安心で繁栄していると伝えていますが、私たちがこちらで聞いているのは、イランの攻撃とか、パレスチナがどうか、そんなことばかりです。どうして安全安心だと言えるので

すか？」

まず、イランがした事について、彼らが何をしたかといえば、彼らはイスラエル領土には全く落下しないロケットを20~30発、発射しました。ガザで起こっていることに関して言えば、殺されているのは誰でしょう？

彼ら自身です。私たちではありません。

私たちは強く、守られていて安全です。

見てください。私に聞こえてくるのは、私の戦闘機が任務を果たすために離陸する音だけです。言っておきますが、私たちの周辺の国々は、私たちと対峙するべきでない事を、皆、理解しています。イスラエルには、中東で最強の軍隊、世界で最高の空軍があります。イスラエルには、世界で最高の諜報機関があります。現在、どの国も私たちと対峙したくないのです。イランは試みましたが、物凄く後悔しています。

経済的にも、国々はイスラエルの援助を求めています。

つまり、発明、農業、薬品、水、サイバーセキュリティ、武器に至るまで、国々は我々の精巧なものを買って求めているのです。我々はここにおいて、国々は敵対するよりも、イスラエルの友となる方が遥かに利益がある事を理解しています。ですから、現在、私たちが公式に友好関係にあるのは、バーレーン、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、そしてもちろん、ヨルダン、エジプトとも和平があります。私たちは、過去になかった程最強です。皆さん、理解しておいてください。

私たちにとって、敵が一切いない日などありません。

問題はそこではありません。

大事なのは、長年散らされていた後、イスラエルが故国に帰った点で、聖書には、エゼキエル38章を読めば、これから起こる戦争について伝えていて、長年荒廃していたところへ、近年イスラエル人が再度増え広がった国に、敵が攻め込む、と書かれているのです。これは確実に、イスラエルが故国に戻ることを告げていて、私たちはこの地域に戻りました。そして、

——今、アラブの報道が入りました。

皆さんが、先ほど離陸する音を聞かれた、イスラエルの戦闘機です。

今、別のアラブの報道機関が、イスラエルがガザで空爆したことを報じています。

面白いですね。事がまだ起こる前に、皆さんは既に目にして、数分後にガザ地区からそれが報道されるのです。

皆さん、アメリカ大使館が移転しました。

これは、さらなるイスラエルの安全、安定、繁栄に向けて、非常に意味ある大きな一歩です。そこで問題は、「これは永遠に続くのか？それとも、嵐の前の静けさなのか？」

これが今週の土曜日、オハイオ州シンシナティでの私のメッセージの主題です。そこで行われる、この預言カンファレンスは、His Channel.comでライブ配信されます。His Channel.comは、クリスチャンのインターネット放送で、カンファレンス会場よりライブ配信されます。そこでの私のメッセージは「嵐の前の静けさ」。今起こっている事、それから近い将来起こることについて見ていきます。

ということで、イスラエルが戦争中だと思っている方は、ぜひ、この穏やかなガリラヤをご覧ください。わたしの背後に広がる、ハルマゲドンの谷を見てください。この非常に穏やかで、非常に静かで、非常に美しい様子を見てください。

事実、ガザで起こっていることにしても、あれはガザで起こっている事で、イスラエル国内ではありません。

私たちの国は超安全で、不安に思っている人は誰もいません。誰も戦争のことなど考えていません。私たちは、しっかりと確信しています。といっても、私たちは無謀なのではなく、私たちは危険を理解しています。今日は微笑んでいるロシアが、明日には、全く別のものになり得る事も、私たちは理解しています。彼らは機会を得れば、何かを仕掛けてくることも、我々は理解しています。しかし、それが起こるまでは、私たちは今日という日を楽しみ、前代未聞の平和、安定、安全、繁栄の時代を楽しみます。皆さんの多くにとって、これを理解するのは難しいとは思いますが、皆さんもここに来れば分かります。ちょうど私とのイスラエルツアーに、世界中から参加していた90人の人たちを見送ったばかりですが、彼らは、ここがあまりにも穏やかで安全であることに、衝撃を受けていたのです。彼らは、イランが攻撃している最中にここにいたのです。しかし彼らは何も聞かず、何も感じませんでした。皆さんが想像できる以上に、ずっとおだやかです。詩篇83篇が間もなく起こるとか、イスラエルの敵が全員集団で攻めて来るとか、周りを取り囲み破壊するとか、いろいろな事が言われていますが、いいえ。NO!NO!NO!

それは、1948年、1967年の時代の話です。

もう違います。

イスラエル周辺の国々は、イスラエルに攻め込んで来る国々ではありません。

国々は、イスラエルに攻めこんできますが、それらは隣接する第一層の国々ではなく、第二の層であり、私たちはそれを知っています。あなたも私も、ロシアが来ること、それにイラン、トルコが加わることを知っています。しかしそれは、ヨルダンでもなければ、エジプトでもありません。そして、パレスチナの詐欺行為は、この70年間ずっと行われている事で、何一つ、私たちを破壊したり、脅かすものではありません。

またF-16が飛行していますが、これはガザ地区で攻撃した後、着陸に向かっているものだと思います。これは離陸ではなく、私の後ろにある基地に戻って来ているものです。

とにかく、私がお伝えしたいのは、私たちは物事を正しい視点で見なければなりません。私たちは、この繁栄と平和の瞬間を楽しむべきです。それから、信者として私たちは、福音を伝え、神の御言葉を広めるために、これを使わなければなりません。なぜかと言えば、いったん戦争が始まれば、私たちがここを離れる可能性は非常に高い、と私は思っていますから。

「どうして、戦争が起こると、私たちはここを去ると思うのですか？」

と色々な人から聞かれますが、いつも言うように、私には携拳の日や時は分かりません。ただ一つ、私が知っているのは、アメリカがイスラエルを防衛しないというのは、非常に異常な事で、大きな矛盾があるのです。現代のアメリカは、これまでになかったほど、イスラエルの側に立ち、「自分たちはイスラエルの味方である」と全世界に向かって告げています。ところで、先週起こった、前回のイランとの対立では、もしイランがイスラエルを攻撃するなら、自分たちがイランを攻撃するとアメリカが脅していたのですよ。

念のため、皆さんにもお知らせしておきますが、今日、アメリカはイスラエルの味方であることを全世界に示したのです。アメリカにとっても、イスラエル以上の友はありません。ですから、イスラエルを攻撃する前に、よく考えなければなりません。事実、何人かの人が出ていきましたが、皆がベニヤミン・ネタニヤフの所に行き、話をしたいと願っている。それは彼が、トランプ大統領に話を繋げる道となっているからです。今日の大統領開館式に参加した指導者たちの中に、新生し聖霊に満たされたクリスチャンがどれぐらいいたか、皆さんにも見て欲しかったです。

皆さん、理解しなければなりません。Robert Jeffress 牧師が、あの場所でイエスの御名によって公に祈ったのですよ。これは、前代未聞です。

私が言いたいのは、エゼキエル戦争の前に携挙が起これば、アメリカの指導者たちはいなくなります。そうすればアメリカは、イスラエルの側に立ち、イスラエルを防衛出来る国ではなくなります。これは実に、単純明快な事です。では、それによってアメリカが崩壊し、ロシアが状況を利用してイスラエルに攻めこむのか？多分そうでしょう。私は軍事学者ではありません。私はただ物事を見て、私たちに与えられた選択肢を見ているに過ぎません。私には、その日、その時は分かりません。しかし、一つ私に分かっているのは、今がその時代、その季節です。ですから、ここで起こっている事を見ていると、非常に面白いです。

これまで私が想像し得た、一番滅茶苦茶で、一番甘い夢でさえ、アメリカの大統領がここまで私たちの味方で、これほどまでに悪に敵対し、これまでのイスラエルに対して行なわれてきた、あらゆる過ちに立ち向かうのを目撃する日が来るとは、想像だにできませんでした。

これまで私が想像し得た、一番滅茶苦茶で、一番甘い夢でさえ、アメリカの国連大使が、周りの者全員に恥辱を与え、彼らが物凄い偽善者であると告げるなんて、想像も出来ませんでした。

私たちはずっとそれを行なってきましたが、私たちは常に孤軍奮闘していて、そして、誰も我々を理解しないと思っていました。

さらにこの8年間は、アメリカ政権でさえ、完全には我々の味方ではありませんでしたから。あの政権が終わる一か月前には、これまでのイスラエルに敵対する国連安保理の決議の中でも最も残酷な決議に、彼らは加担したのです。基本的には、ユダヤ人地区に西壁さえも、イスラエルのものではない、と言ったのです。

それが、多くの祈りに答えてくださった神に感謝します。その結果与えられた大統領は、まだ生まれていない命を愛し、家族の価値を愛し、キリスト教を愛し、イスラエルを愛し、聖書を愛しています。これは歴史的な出来事であり、前代未聞である、と私たちは理解しなければなりません。アメリカで、彼ほどクリスチャンの味方で、イスラエルに良くしてくれた大統領は今までありません。

というと、「ロナルド・レーガン大統領も素晴らしい大統領だった」

と皆さんは言うかも知れませんが、それには私も同感です。

しかし現在、トランプ大統領の下、アメリカ側から我々が受けている献身、支援、友情のレベルは、これまでの誰も及びません。彼の前のどの政権も、この足元にも及びません。私たちはそれを肌で感じています。

私たちは毎日、これは本当なのか？こんな現実があり得るのか？

真実であるには、出来過ぎではないか？と自分で信じられないのです。

正直言えば、何人かのイスラエル人に聞いたことですが、イスラエルのエルサレムにあるサッカーチームが、チーム名を「ベیتال・トランプ・エルサレム」に変えるというのです。もちろん、それを認める人がいるかどうかは、私には分かりませんが。ただ、イスラエル人がこの大統領に対して抱いている賞賛のレベルが、どれほどであるか、お分かり頂けるでしょう。このようなものは、これまで見たことがありません。私は諜報機関から直接情報を得る、いくつかのオンライン社会の一員ですが、今回起こった事のように、これほどまでの賞賛が伝わってくるのは、初めてです。私たちは皆、イスラエル人として、畏敬の念を抱いていて、今日撃していること全てを、畏敬の念をもって見えています。私たちは、大使館がエルサレムに移転したことでは、もはや驚きません。大使館移転に至る、この数ヶ月の間に起こった事からは、私たちの人生の中で見たことのないものでしたから。イスラエルを国家として認識した、ハリー・トルーマン大統領でさえ、ここまでレベルでの献身は出来ませんでした。彼の政権は、彼に賛同していなかったからです。これを理解するには、皆さん、

歴史を調べてみてください。

政権全体が、ここまで私たちの味方をするのは、これまでになかったことです。特に今は、現国務長官と、現在の国家安全保障問題担当顧問は、国家としての我々にとって、最高のチームです。イランの仮面を剥いだことで、アメリカはさらにヨルダンやサウジアラビア、エジプト、アラブ首長国連邦、バーレーン、その他のアラブ諸国からも、正当な友として認識を受けました。ですから、アメリカの政権は、現在、良い者からは賞賛を受け、悪の者からは憎まれています。これは前政権では言えなかった事です。前政権は、中東におけるアメリカの味方たちが全く信頼しないほどに、信用を失ったのですから。今は、信用されています。今は、別の事が起こっています。人は、戦争の空気が流れている、と想像しようとしますが、今、私たちが感じているのは、平和の空気です。朝鮮の人々もそう言うでしょうし、ここの人たちも、そう言えます。イランとの状況がエスカレートするかといえば、現在、イランに関して起こっていることの全ては、イランの屈辱です。

それなら、私は彼らの事は終わったと思っているのか？——思いません。

私は、我々周辺のすべての敵が終わったと思っているのか？——思いません。

私は、戦争が起こらないと思っているのか？——それは起こります。戦争は起こりますが、それはまた違ったもの、大きいもので、全く違う空気の中で起こります。

繰り返しますが、今のアメリカの役割は非常に重要です。

ということで、今日は私の感謝の気持ちを伝えるだけでなく、今日、多くのイスラエル人が共有している感情、歓喜、私たちが、これまで得たことのない、国々からの愛、敬意を、皆さん全員にお伝えしたいと思いました。余りにも素晴らしすぎて、私たちは怖く感じるほどです。

先ほどは、F-16の音を聞いていましたが、今聞こえてくるのは、美しい鳥のさえずりだけで、ここが非常に平穏であることを物語っています。

今日は、以上です。イラン協議について、それからその背後にある激しい崩壊について、この数日のうちに、もっと出て来ると思います。私がアメリカに行っている間に、また何かありましたら、アップデートします。以上です。

今日は、私は幸せなイスラエル人です。

私たちは、アメリカ政権と、彼らの大胆な動きを誇りに思います。

ガザ地区で起こっている事は、とても嘆かわしい事ですが、皆さんに、実際に起こっている事、反対側の人たちが自国民に対して行なっている事が伝わればと願います。

それから、彼らが正しい感覚を得て、死ではなく、いのちを尊重するように祈ります。あの悪の政権が、これ以上あそこに存在しないように祈ります。イランが背後にいて、人々にお金を払って、悪しきことを行なわせているのです。

以上です。

お祈りをして終わりたいと思います。

私は明日、カナダ、アメリカに発ちますので、私のためにも、お祈りいただければと思います。

ありがとうございます。どうぞユーチューブチャンネルをご登録ください。

「Behold Israel/ビホールド イスラエル」です。

それから、ウェブサイトより、ニュースレターをご登録ください。

また、インスタグラムでは、素晴らしい写真をご覧いただけます。「beholdisrael」です。この数日間に、イスラエルだけでなく、ヨルダンのペトラを訪れた時に撮った写真も見事です。

では、祈りましょう。

	ヴェイシェメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וְיִתְנֶךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יֵאָר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私たちのあらゆる理解を超える平安、平和の君、平和の主が、あなたに今もこれからも、どこでも、平安を与えられますように。

イエスの御名によって。

アーメン。

穏やかで、静かなガリラヤより、ハルマゲドンの谷を後ろに、シャローム！

そして、God bless you!

ありがとうございます。

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

アメリカ大使館開館式：“Opening ceremony of the US embassy in Jerusalem-watch me ” You Tube より
赤いビホールドイスラエルシャツ姿：動画より

デモの現場に赤ちゃんを連れて来る母親：“Sick:Palestinian Drags 3-Month-Old Baby to
Violent Gaza Riot” United with Israel 2018.4.15

風に熱い炭を付けて飛ばす：“Flaming Kite from Gaza sets Israeli warehouse ablaze” THE TIMES OF ISRAEL
2018.4.21

5月11日、パレスチナ人はガスパイプラインを破壊：“Gaza Strip running low on cooking gas after
Palestinian rioters trash crossing” THE TIMES OF ISRAEL 2018.5.13

ネタニヤフ首相を糾弾する、エルドアンのツイート：レジェップ・タイIPP・エルドアンのツイッターより
(このライブで言及されているツイートではなく、5月16日のものです。「ネタニヤフは、国連決議に違反して、60年以上、無防備な人々の土地を占領しているアパルトヘイト状態の首相です。彼はパレスチナ人の血を手にし、トルコを攻撃することによって、犯罪を隠蔽することは出来ません。人間性のレッスンを欲しいですか？十戒をお読みください。）」

ゴルダ・メイア：Wikipedia「ゴルダ・メイア」

ニッキー・ヘイリー米国連大使：“Turkey Punishes Israel for Hamas Border Attacks, Netanyahu Ties Erdogan to terrorism ” CBN News 2018.5.16